

2023年2月

第149号

# ぱれっと



(株)北日本ベストサポート  
Tel. 018-883-1888

## 早く終結して欲しいロシア・ウクライナ戦争

昨年2月24日ロシアがウクライナに侵略戦争を始めてから、1年になる。その間、多くの尊い命が犠牲になった。ロシアでは一般住宅や、学校、病院、さらには原子力発電所にまでミサイル攻撃を行っている。これらは明らかに国際法に違反し、絶対に許してはならない行為である。国連の安全保障の常任理事国が戦争を仕掛けたのだから、なんともやるせない思いが強い。

第二次世界大戦以降70年以上に亘って平和を享受してきた現代の人々にとっては本当に夢のような出来事である。世の中が地球の温暖化防止や自然保護とか男女の平等だとか様々な改革を世界共通の課題として取り組みが行われている時に、大国が弱小国に対して戦争を仕掛け領土拡大に走る行動は絶対に許してはならない行為である。

日本では、ロシアとの北方領土問題がある。中国との間では尖閣諸島の領有権問題があり、さらに韓国とは竹島問題がある。しかもその周辺問題として中国の台湾併合問題がある。北朝鮮は相変わらず中・長距離弾道弾の発射実験に余念がない。核開発も進んでいる可能性が高い。一步誤れば取り返しのつかない事態を誘発しかねない状況が続いている。

ウクライナでの戦争にはロシアに対して多くの国が経済的制裁を加えている。その反動で、石油製品や小麦などの食料品の値上げが相次いでいる、そうした中で為替相場が一時150円台まで円安となるなど輸入品はダブルで値上がり状態が続き業種にもよるが国内産業に様々な歪をもたらしている。

しかし、戦争を終結させるための見通しは全く見えてこない。一つは、プーチン大統領が何を考えているか予測が立たないということである。戦争を仕掛けた当初は短期決戦でウクライナを占領し決着をつけるつもりで開戦に踏み切ったが、予想に反してロシアにとって戦局が思うように好転しないばかりでなく、世界の多くの国がこの戦争に反対しロシアへの経済制裁に加わり、特に米国やNATO(北大西洋条約機構)諸国は武器供与や情報提供などウクライナへの支援を強化しており、ロシアにとって戦況が思うように好転していない情勢となっている。

また、1年後にはロシア大統領選挙が予定されており、プーチン大統領にとって自らが大統領選挙に再度出馬するとなると現況のまま話し合いでの解決は望めない。国民にはっきりウクライナ戦争で成果を上げることが命題となってくる。従って、ウクライナ戦争が現況のまままで和解交渉によって決着を付けようとしても不可能に近い。それでも戦争終結の努力は絶えず模索してゆく必要がある。平和の有り難さを再認識したい。



(中国古典の知恵に学ぶ)

### 激務についても悠々と生きる

社会的に高い地位にあるときは、体を休める暇もないくらい仕事が忙しいものである。しかし、こういったときこそ、その地位やつき合いに縛られるのではなく、心身ともに休まる環境に身を置くことが大切である。

一方で、隠遁して自然の中でのんびりと生活している人は、つい現実の社会から縁遠くなり、世間知らずになってしまいがちだ。

だからこそ、田舎暮らしをしても、常に社会情勢に目を向け、自分なりの見識を持つことが大切だ。

(前集 27)

### エリートとしての自覚を持つ

真のエリートとは、世の中のために働こうという強い意志と社会的責任を自覚している人のことだ。

幸いにも、選ばれて社会的に高い地位につき、豊かな生活を保障されているのに、人のためになるような発言も仕事もしないようでは、どうしようもない。

そんな人間は、百年生きたとしても、一日生きた値打ちさえない。

(前集 60 後段)

### 人に寛大にし、自分に厳しくする

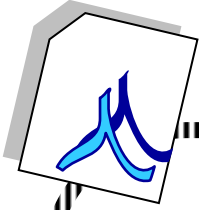
人の過失や欠点を責めるときには、悪いところだけをとがめるのではなく、同時に良いところも評価してやるのが大切だ。

そうすれば、叱られた方も嫌な気持ちにならなくてすむ。

これに対し、自分の過失や欠点を反省するときは、良いところの中にも悪いところがないか、あえて探し出すくらいの厳しい態度が必要だ。

そうすれば、人格にも一段と磨きがかかるだろう。

(前集 218)



## 橋本 左内 (武士・志士・思想家)

- 天保5年3月11日(1834年) 福井藩奥外科医で二十五石五人扶持の橋本長綱の長男として越前国常磐町に生まれる。
- 嘉永2年(1849年) 大阪に出て適塾で蘭方医の緒方洪庵に師事する。
- 嘉永5年11月(1852年) 帰藩、父病亡。藩医(表医師外科)列に加えられた。
- 安政元年(1854年) 江戸に遊学し、蘭学者坪井信良の塾に入り、後、杉田成卿に師事し、蘭方医学を学ぶ。
- 安政2年(1855年) その後、水戸藩藤田東湖、薩摩藩の西郷吉之助、小浜藩の梅田雲浜、熊本藩の横井小楠らと交流。
- 安政4年(1857年) 藩医職を解かれ、御書院番に転じ、その後、福井藩主松平春嶽(慶永)に側近として登用される。
- 安政4年8月 正月藩校・明道館御用掛り、学監同様となる。
- 江戸詰めを命じられ、侍読兼内用係を務め、藩主側近として藩の政治、国の政治に大きく関わるようになった。
- 安政5年(1858年) 14代将軍を巡る将軍継嗣問題では、春嶽を助け一橋慶喜擁立運動を展開し、幕政の改革を訴えた。また、対外貿易を行う構想などを提唱。
- 安政6年10月7日(1859年) 井伊直弼による安政の大獄が始まり、春嶽が隠居謹慎を命じられ、親戚の邸に幽閉された。
- 左内は取り調べの主張が井伊の癪に障り伝馬町の牢屋敷で斬首となった。享年26歳。
- 明治24年 贈正四位。

## オススメの BOOK



### 「弱いニーチェ」

著者 小倉 紀蔵 発行 筑摩書房

作者は京都大学大学院人間・環境学研究科教授。専門は東アジア哲学。  
ニーチェについては小紙でも4か月に1回の割合で「ニーチェの言葉」として取り上げてきた。比較的わかりやすい言葉で人間の生き方などについて語っており、親しみのもてる哲学者だ。本書は東洋哲学が専門である作者が、道元や王陽明などの考え方の類似性や相違点などについて述べている。  
日常接するニーチェとまた違った方向からのニーチェ理解の一冊である。



## 2023 年度 税制改正大綱のポイント

令和4年12月16日に税制改正大綱が発表されました。税制改正大綱とは、各省庁や各種団体から提出された税制改正の要望を取りまとめ、今後の税制改正の基礎となる案です。

改定までの流れとしては、12月に税制改正大綱が取りまとめられ、翌年2月に内容の審議、3月成立、4月から施行となります。

### ① NISA の抜本的拡充と恒久化

これまでの NISA の非課税保有期間には上限がありましたが、非課税保有期間は「無期限」となりました。

### ② 贈与税の暦年課税と相続時精算課税制度の見直し

親や祖父母から子や孫に財産を受け継ぐには「贈与」あるいは「相続」が必要です。いずれも制度の内容が煩雑かつ非課税枠や控除制度の利用に際して特別な手続きが必要であったことからスムーズな財産の継承の障害となっていました。このような状況に鑑み、贈与税の「暦年課税」と「相続時精算課税」の制度が見直しされました。

### ③ 住宅資金の贈与税非課税措置は延長なしで 2023 年末に終了の見込

「教育資金」「結婚・子育て資金」については 2023 年度税制改正によって延長が決まりましたが、「住宅資金」は延長がなく 2023 年 12 月 31 日で終了する見込みです。

### ④ 「相続空き家の 3,000 万円特別控除」対象拡大

改正前は売却前に解体あるいは耐震改修をする必要がありましたが、この点が売却後に買主が同様に解体あるいは耐震改修をした場合にも同制度の対象となります。

### ⑤ 中古マンション固定資産税減額の特例措置創設

長寿命化に資する大規模改修工事を行ったマンションに対し、工事翌年の建物部分の固定資産税を $\frac{1}{6}$ ～ $\frac{1}{2}$ まで減額する措置が講じられることになりました。

いずれも、資産形成や不動産売買のタイミング、住まいの維持・管理に影響する改正です。特に今回の改正は「相続」や「贈与」に大きな影響を与えるものと言えます。不動産を活用した相続対策、あるいは相続後の不動産の処分を検討している方はぜひ弊社へご相談下さい。

### 【編集後記】

秋田市の今年の冬は正月に全く雪もなく、1月20日過ぎに本格的に吹雪となったり、冬らしくなってきた。子供の頃は雪が降ることは当たり前で、スキーやソリ、雪合戦などでよく遊んだものだ。また、当時は雪が少ないと米作に影響しないか心配する声も聞かれた。山に雪が積もるということは自然の貯水池と同じ作用をする。

さらに、厳しい冬が過ぎると、眩い日差しがさしこみ、春の訪れを感じ、大きく背伸びをして深く深呼吸をする。一斉に動物や植物が躍動する。